

## 世田谷村日記

石山修武

二月三日

十時河野鉄工業来室。世田谷村二期工事その他打合わせ。この会社とも長い附合いになりそう。十一時軽井沢の家の基本構想を決める。面白いモノになるかも知れない。スグ模型作りを依頼。アベルの仕事を見る。彼の仕事に初めてOKを出す。力あるぞこいつ。十三時内閣府来室。十六時梅沢良三先生構造打合わせ。十八時高山さん来室打合わせ。十九時半修了。野田さんの件の打合わせスケジュールを決める。最近スタッフと無駄話するヒマも無かった。一息いれて、おしゃべり。二十二時過研究室を出る。二十三時過世田谷村に戻る。

二月四日

七時二〇分起床。昨夜はあんまり眠れなかった。八時世田谷村発。青空だけが救いである。九時東京駅踊り子で蓮台寺へ。今、隣りに森田兼次さんと長谷川さんが居る。今日は電話で研究室の連中に、昨夜考えた事を指示しなければならない。十一時四〇分蓮台寺着。松崎町の車で娑婆羅峠を越えて松崎町へ。十二時半町役場の方々と打合わせ。十四時過修了。十五時蓮台寺発踊り子で東京へ。

美術館前の立ち話ではあったが、大事な案件も浮上したように思う。

十七時四〇分東京着。駅内のレストランで夕食。森田さんのお

元気な間に、面白い事やりましよう、楽しみましよう、実質の伴なった職人のユニオンを作れないか、の話などして別れる。二〇時過研究室。幾つかの指示を出し、二〇時半出。二十一時半頃世田谷村に戻る。

森田さん達、日本中の左官職人達との附合いも、そろそろ実体としてまとめなくてはならぬ時期になった。行き帰り、五時間半の汽車で色々考える事が出来たのが収穫であった。